

先進地研修の考察と野洲市の現状

- 集中処理の問題点
 - 多額の設備投資が必要
 - 生成した堆肥の処分
- 野洲市の燃えるゴミに占める生ゴミの割合は、10～15%程度で一般的な都市ゴミに比べかなり低い。野洲市は農地が多く、生ゴミを自宅処理している人が多いと考えられる。

家庭で出来る生ゴミ堆肥化方式



「好気性微生物」による堆肥化(手動式)

当プロジェクトで試験中



EMボカシによる生ゴミ堆肥化

小南、入町、妙光寺、山出、大中小路の各自治会で熱心実施されている。

畑に置くコンポスト



家庭用生ゴミ処理機
ゴミックス BM-A140
(最大消費電力 110W)



生ゴミ堆肥化試験中(1)

市販の省力型好気性処理



←手回し式の
「自然にカエル」

藤本式
「くうたくん」→



生ゴミ堆肥化試験中(2)

土のう袋による好気性処理試験



生ゴミを入れ移植コテでかき混ぜ、さらに袋を閉じて、袋全体をひっくり返して内容物を混ぜる。袋は交互に使用し2日ごとに替える。
(「カドタ式」土のう袋堆肥を参考)

土のう袋の半分弱になるよう
落ち葉3、畑の土1、米ぬか0.5、
を入れ水で湿らす。2袋作成し、
4、5日後から生ゴミを入れる。



生ゴミ堆肥化試験中(3)

ダンボール箱による好気性処理試験



段ボールは、保温効果があり、生ごみの水分を逃がしたり、微生物の活動(発酵)に必要な空気を通します。

冬はペットボトルにお湯を入れて暖めると温度が上がり微生物の活動が活発になります。

生ごみカラット

好気性微生物による処理は水分が多いと活動が衰えます。生ごみ乾燥に「生ごみカラット」が役立ちます。



プロジェクトの今後の方針

多額の設備投資が必要な集中処理は採用せず
次の各家庭での堆肥化と事業者対策を推進する

- 各家庭での生ゴミ堆肥化の推進
 - (1) 各種生ゴミ堆肥化方式の比較検討
 - (2) 家庭に適した堆肥化方式のPR・指導
 - (3) 貸し農園の推進
- 食品販売・レストラン等事業者対策
 - (1) 業務用堆肥化設備等の調査と性能比較
 - (2) 食品リサイクル法に基づく自主処理の推進